

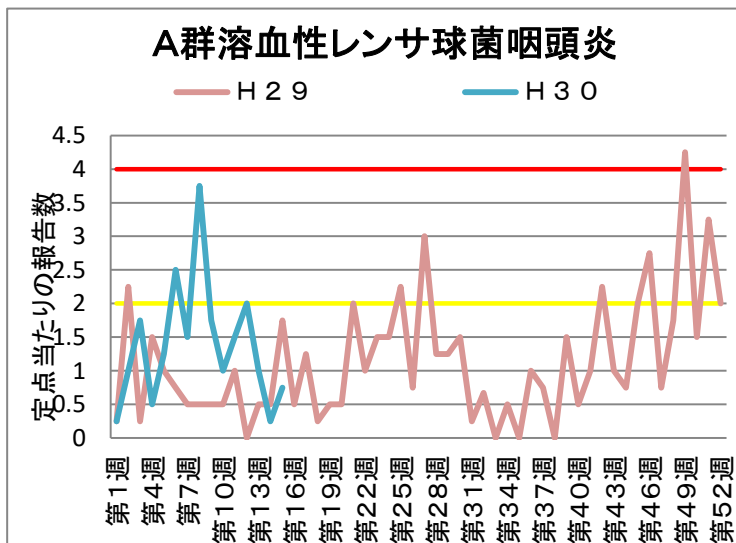
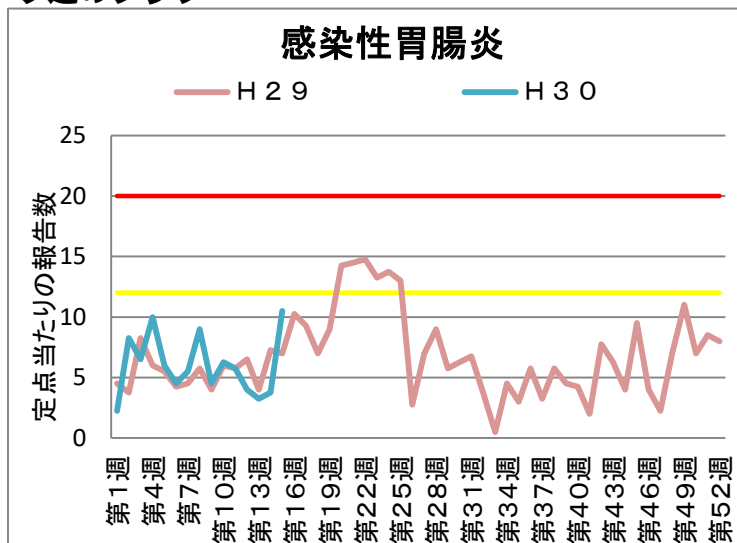
乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (小児科定点、インフルエンザ定点)

第 15 週 平成30年4月9日 ~ 平成30年4月15日

今週のコメント

感染性胃腸炎がやや増加しています。学校等欠席者・感染症情報システムでは溶連菌感染症が増加しています。**【沖縄県で麻疹(はしか)が増加しています】**麻疹は感染力がとても強く、麻疹に対する免疫がない人が感染すると100%発症(感染してから発熱などの症状がでるまでの潜伏期は約10~12日)し、重症化することがあります。①沖縄を旅行された方で、麻疹を疑う発熱や発疹などの症状を認めた場合は、受診前に医療機関に電話をし、沖縄での滞在歴・症状・麻疹含有ワクチン接種歴を伝え、受診方法(受診時間や入口など)を確認してから受診してください。②麻疹はワクチン接種により予防可能な感染症です。沖縄や麻疹流行国に行かれる場合、2回以上のワクチン接種歴のない方、検査診断された麻疹罹患歴のない方は、ワクチンを接種しておきましょう。③定期接種対象の1歳児と年長児さんは、速やかにワクチン接種を受けておきましょう。

今週のグラフ



* 赤線 流行警報基準値です 黄線 警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	0.43	手足口病	-
RSウイルス感染症	-	伝染性紅斑	-
咽頭結膜熱	-	突発性発しん	0.5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.75	ヘルパンギーナ	-
感染性胃腸炎	10.5	流行性耳下腺炎	0.25
水痘	-		

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

* 乙訓管内 インフルエンザ定点数：7箇所、小児科定点数(インフルエンザ以外の疾病)：4箇所

参考資料等

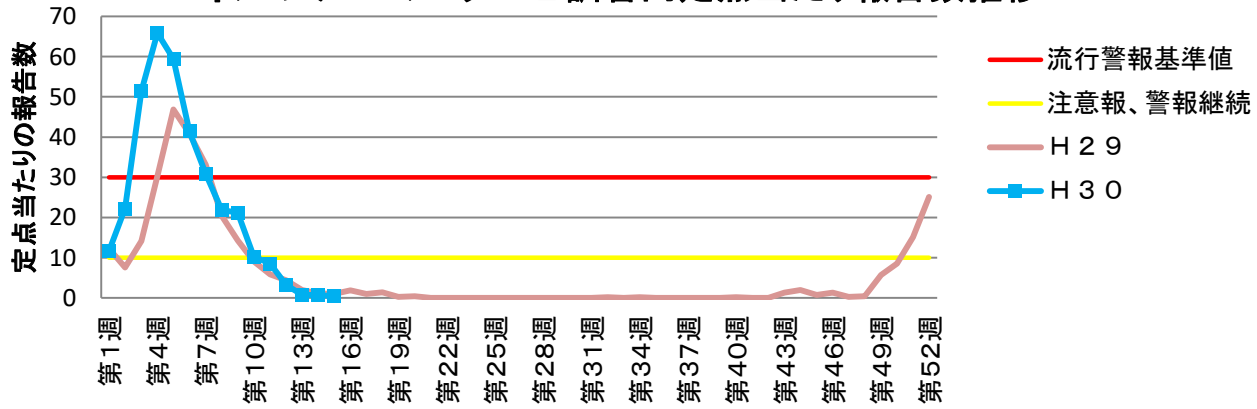
報告週対応表

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

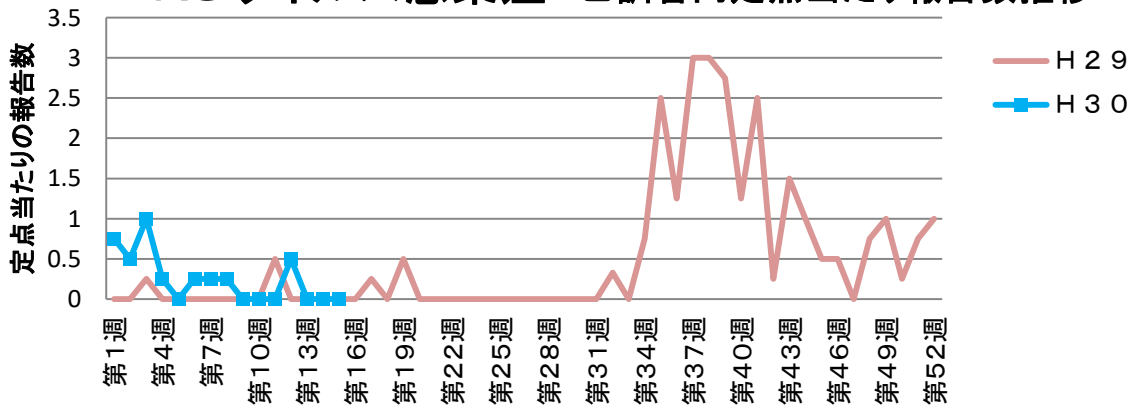
警報・注意報基準値の説明

<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide03.html>

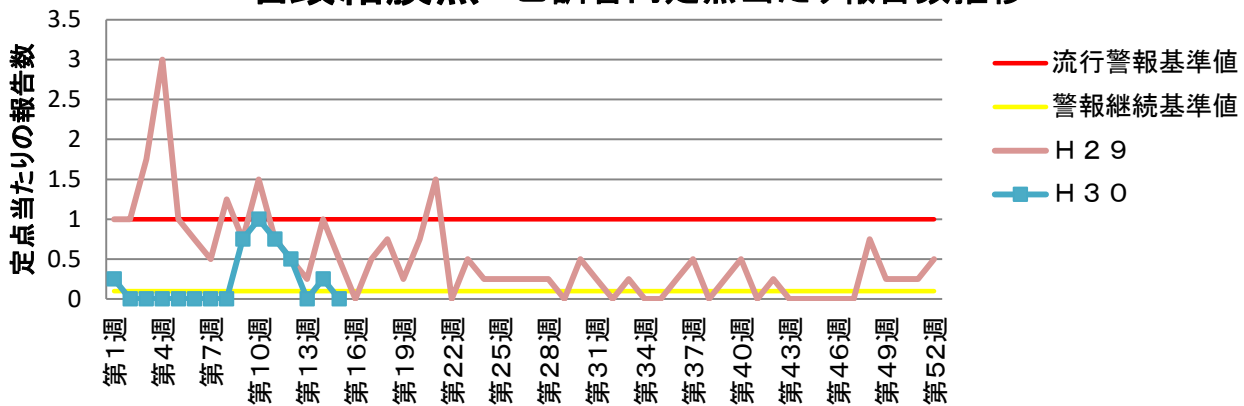
インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



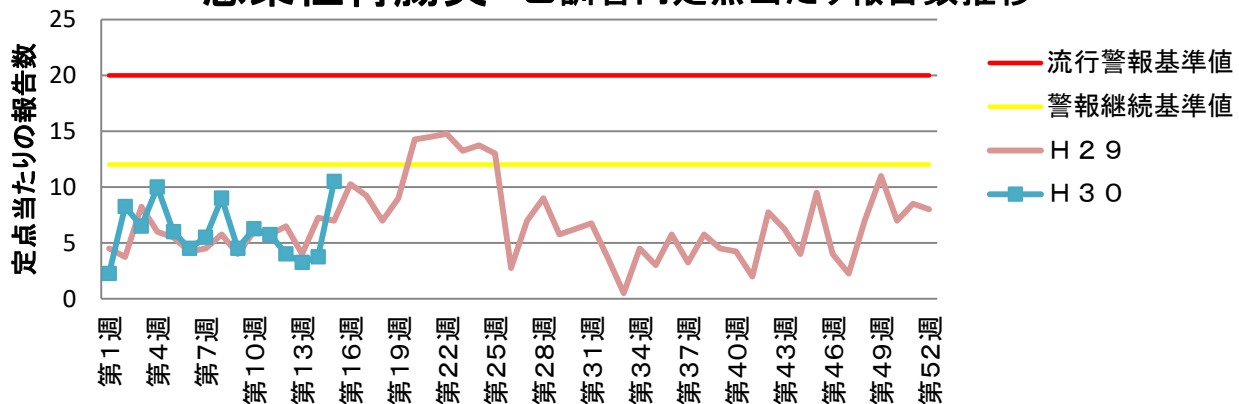
RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



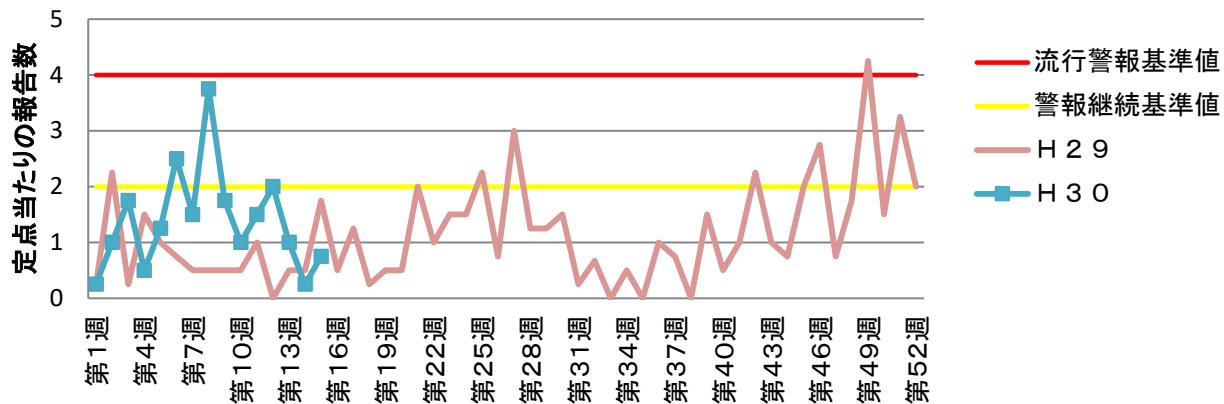
咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



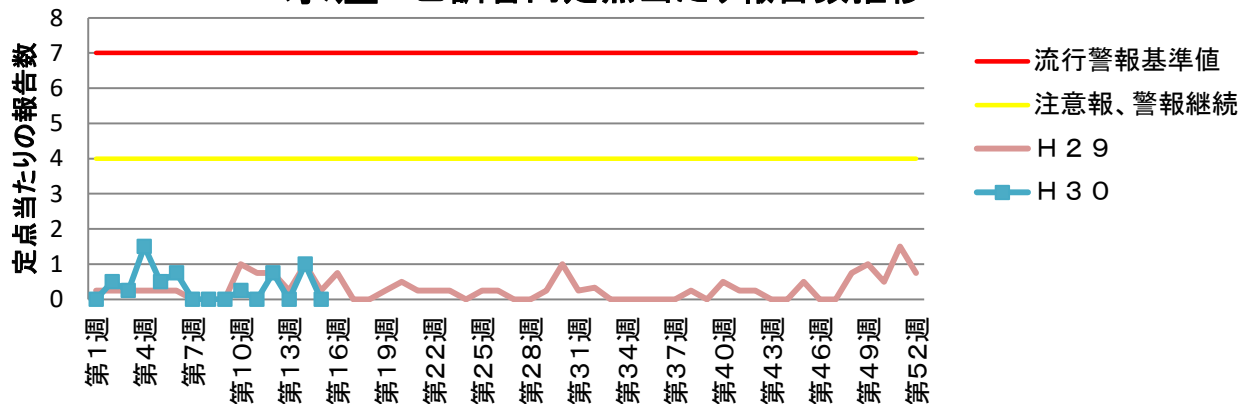
感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



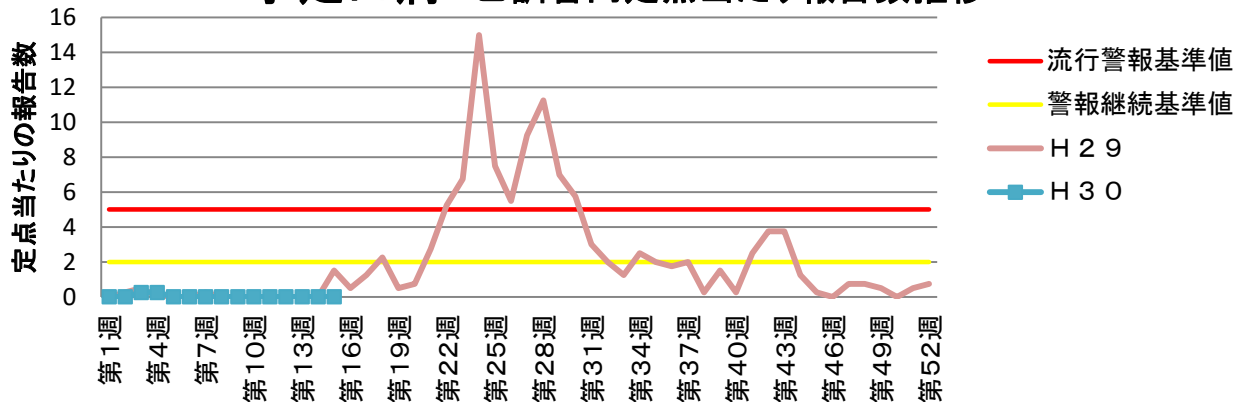
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



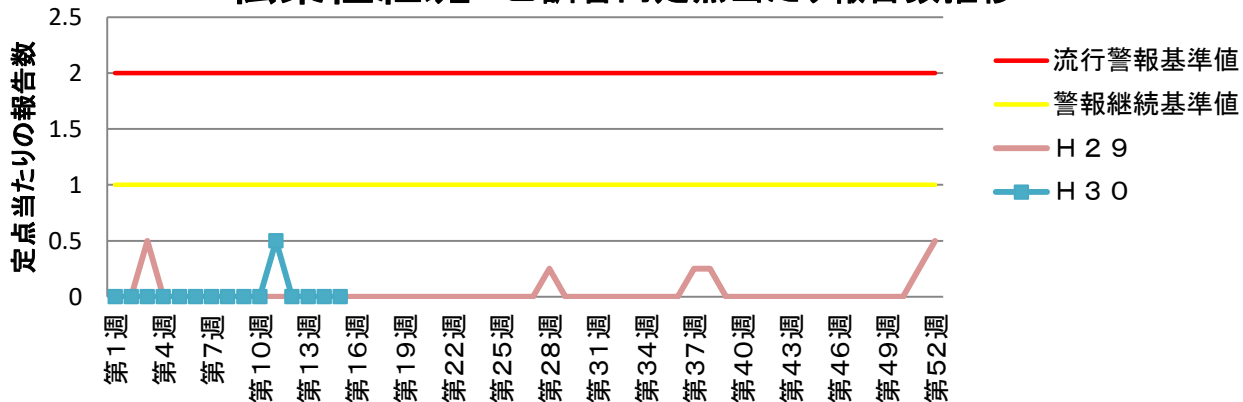
水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



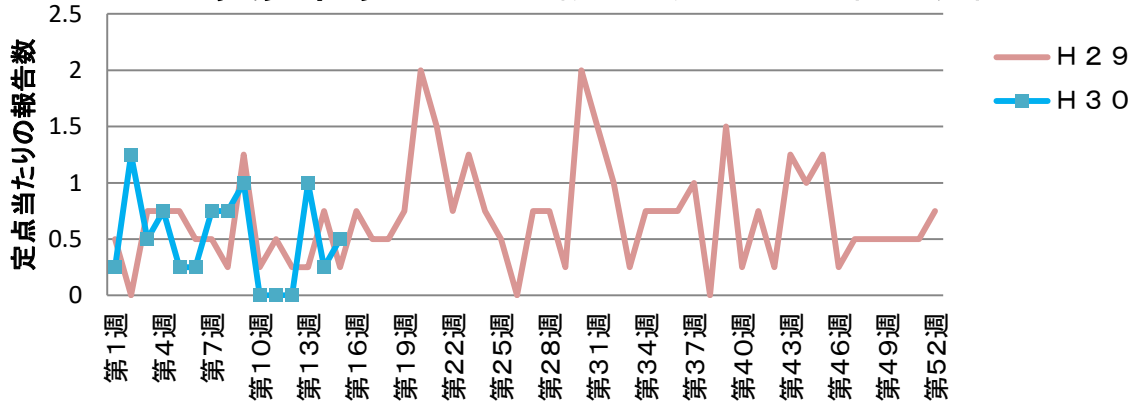
手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



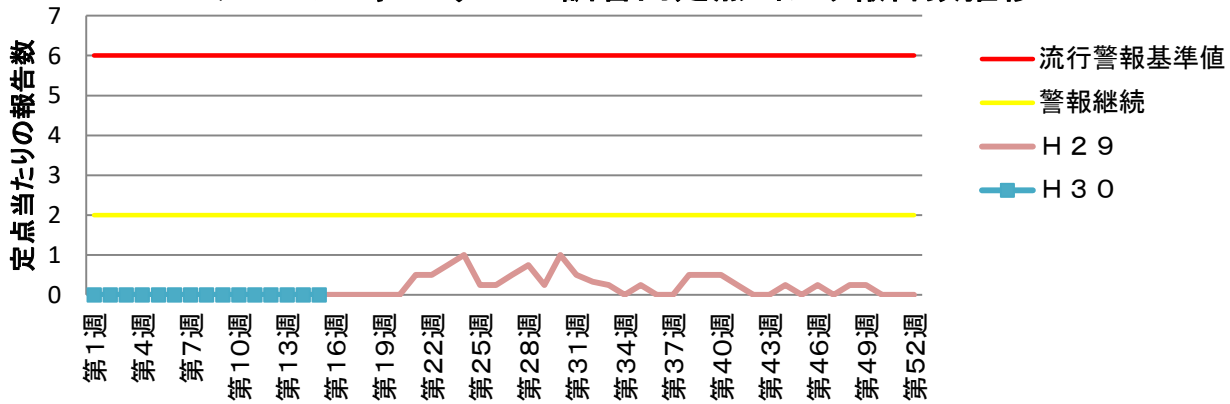
伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

